

## セミナー概要報告

### 「Bangladesh Human Resource Development Exchange Seminar」

日程：2019年9月24日（火曜日）13：30～16：10

場所：BIZ 新宿（新宿区立産業会館）

目的：日本とBangladeshの懸け橋となる人材の育成を促進し、適正な送出し及び受入を実現することにより、わが国の企業の発展と両国の更なる発展に寄与することを目的とする

主催：Bangladesh海外雇用サービス公社(BOESL)  
公益財団法人国際労務管理財団（IPM）

共催：駐日Bangladesh人民共和国大使館

後援：日本貿易振興機構（JETRO）、東京商工会議所、東京都、東京中小企業振興公社、公益財団法人東京しごと財団、新宿区、信金中央金庫、全国中小企業団体中央会、川崎商工会議所、東京都商工会連合会、一般財団法人建設業振興基金、特定非営利活動法人日本国際親善協会（JIFA）、社会保険労務士法人協心

概要：



セミナーの様子



主催者と後援者の記念撮影

◆主催者挨拶 (IPM 理事長池田節子)

理事長より、ラバブ・ファティマ大使を始め、共催の Bangladesh 大使館への謝辞とともに、今回のセミナーの目的・意義や技能実習や特定技能の概況を述べました。



池田理事長

◆来賓挨拶 (駐日 Bangladesh 人民共和国特命全権大使  
ラバブ・ファティマ閣下)

人材余剰の Bangladesh と深刻な人材不足である日本の協力体制が望まれている中、日本政府と Bangladesh 政府の間で「特定技能にかかる二か国間の協力覚書」が8月に締結されたこと、また、Bangladesh では国民の海外雇用を管理するために制度を強化していることについて、述べられました。



ラバブ・ファティマ大使

◆講演「Bangladesh の技能実習生送り出しの現況」  
(BOESL・Bangladesh 海外雇用サービス公社部長アリフル・ハーク氏)

BOESL の説明や Bangladesh の基本情報、また職業分野ごとの現況についてのお話がありました。



BOESL アリフル・ハーク部長

◆講演「建設分野の最新の状況と建設キャリアアップシステム」  
(一般財団法人建設業振興基金海外人材育成支援担当部長  
土井直樹氏)

建設キャリアアップシステムが必要である理由、建設キャリアアップシステムの概要と利用手順等についてお話がありました。参加者のアンケートから、大変興味深かったという感想が多くみられました。



建設業振興基金 土井部長

◆講演「Bangladesh 経済と日系企業の動向」  
(日本貿易振興機構・JETRO 海外調査部アジア大洋州課課長代理  
西澤知史氏)

Bangladesh の GDP 成長率や輸出入状況、また Bangladesh における日本企業の事業展開等について大変わかりやすくご講演をいただきました。



JETRO 西澤課長代理

◆講演「適正な外国人材交流を目指して」（IPM 理事坂下）

IPM の紹介、「特定技能」や「技能実習」という在留資格の説明、「特定技能」と「技能実習」の比較などについて紹介しました。



坂下理事

◆閉会挨拶（IPM 専務理事伊瀬）

両国の更なる交流に期待し、参加された方、関係者の方々への感謝の意を述べられました。無事盛況のもと終了致しました。



伊瀬専務理事

●総括

今回のセミナーを通じて、参加者のバングラデシュへの理解が深まりました。また、大使館を始め、送り出し機関などバングラデシュの関係者が国を挙げて日本への人材送り出しに積極的であることを示されました。しかしながら、まだ送り出し国として認知されていないのが現実です。このような中、60 名以上の参加のあった今回のセミナーはバングラデシュの国情を知ることのできる大変貴重なセミナーとなり、盛況に終了いたしました。

以上